

県会議員 奥村のり子の

しん 赤旗 読者ニュース

2013年5月19日 第84号

—奥村のり子生活相談所—

〒640-8212 和歌山市杉ノ馬場1-11

電話&FAX 073-427-7121



橋下大阪市長の暴言は人間の尊厳を否定

日本維新の会共同代表の橋本大阪市長が『慰安婦』制度は必要だったとのべたことや米軍普天間基地を訪問した時も海兵隊司令官に「風俗業は必要」「もつと風俗業を活用してほしい」とまで働きかけています。驚きと世界に対してはすかしという思いと何よりも女性の人権を踏みにじる暴言に怒りがいっぱいです。公党の首長として、市政の先頭に立つ市長としての資格が問われます。

人間の尊厳をおとしめる人物に公人としての資格はありません。大阪市長は関西広域連合の構成員でもあり県としてもおおいに関係のあるところですが。

慰安婦の悲惨な実態については、1993年の河野洋平官房長官(当時)も「軍当局の要請により設置されたもの」「強制状況下での痛みしいものであった」ことを認めています。



4月の女性ばかりの親ばと後援会「春のつどい」でも、原やすひさ氏(立っている人)が「総選挙で維新の会に入れたのは失敗だった」との県内あちこちの声が紹介されました。今度の暴言でさらに広がるでしょう。

「維新に入れたのは失敗」

発言を撤回し謝罪すべきです

国際機関は繰り返し日本に対し、国が責任を認め謝罪することを求めています。橋本氏は直ちに発言を撤回し、歴史認識を真摯にただし、「旧日本軍」慰安婦とされた女性の人権を二重にも三重にも踏みについたことに謝罪をすべきです。(のり子)

注目される20日の演説会!

自民vs共産

20日夜7時、ダイワロイネットホテルで開く共産党演説会は大変注目です。「5本の毒矢」であるアベノミクスは投機とバブルをあり、一握りの大資産家や投資家がポロ儲け、財界や大企業は目先の利益に血眼になり、日本経済なんて「野となれ山となれ」とその社会的責任は放棄したまま…。放射能汚染水も処理できず、いずれ海へ流せば済むとばかり、原発再稼働と海外への売り込みに懸命…。TPP参加はアメリカ言いなりで日本を丸ごと売り渡す…。沖縄には新基地建設と海兵隊増強でさらに負担を増やす…。挙句の果てに時代錯誤の「大日本帝国憲法」復活を狙う…。そして、侵略戦争を肯定する靖国神社へ大挙して参拝や奉納、幕張メッセで10式戦車に迷彩服姿で乗る首相…。こんな有頂天の暴走を続ける首相はまさしく異様だ。

一方、対決する政党はどうか? 民主党は相変わらずゴタゴタ続きで政党の体をなさず、「第3極」維新の会は「賞味期限を迎えつつある」と、石原代表が認めながら自民党礼賛は忘れない。「みんなの党」も改憲をけしかける。どの問題でも的確な分析で対案を出すのは共産党しかない。議員は少なくとも自民党政治と真っ向から対決する唯一の党として注目される中で演説会です。ぜひご来場お願いします。(編集室)

5月の日程

(主なもの)

- 5月17日 市駅前宣伝 街頭宣伝 地区党の会議
- 18日 県行事 スリーウェーブ
- 19日 地域訪問 原キャラバン宣伝
- 20日 地域訪問 演説会
- 21日 地域訪問
- 22日 団会議 地区社保会
- 23日 無料生活相談 地域訪問

リレートーク

Relay talk

住民の願い実現へ

2009年11月、河西地区・本脇住民の方から「豪雨のため家屋が床上浸水となった。下水管ルートの変更をしていただけないか」との要請を受けた。

本脇地区の海岸沿いの住宅地は河西公園ができたため、その下水管は敷地内を通り、新日鉄住金構内の内港へ直接流されてきました。そのため、雨量の多い時間と海の満潮が重なれば排水されず、また海水が下水管を逆流し道路冠水、家屋の床上浸水が発生していました。和歌山市は昨年から下水管

完成間近、本脇地区の下水管の模様替え工事



降雨のたびに冠水していた住宅地内の道路と家屋

ルートを稼働している公共下水処理場へルート変更し、新たに集水ピットを設置するルート変更工事が行われました。総延長は約530m、下水管敷設工事費は約5800万円です。4月末までには下水管敷設工事は完了しました。残り集水ピット工事です。今年10月末には全ての整備は完了予定です。

住民の方からは「下水ルートの変更で雨のたびに心配していた道路冠水、家屋浸水の心配もなくなる。ひと安心だ」と感謝されています。

リレートーク

Relay talk